平成21年11月25日

QLデッキ構造計算ソフトをご利用中の皆様へ

平素は JFE建材床商品をご愛用頂き、誠に有り難うございます。
さて、当ホームページにて 10 月 16 日～11 月 20 日の間掲載の『QL_Check for win ver 4.00』に、不具合があることが判明しました。
内容は下記のとおりです。

耐火認定適合判定の誤り
認定番号 FP120FL-9107［QL99-75、連続支持２時間耐火］における、下記条件時
コンクリート厚 90㎜ 以上　　スパン L　3.4m＜L≦3.6m
積載荷重 5,400N/m²以下　　ひび割れ防止筋 D10-@200

この条件下では、正しくは**軽量コンクリート使用の場合のみ適用**の対象となるのですが、
ver4.00 では『**普通コンクリート使用**』でも**○の誤判定が表示**されます。
普通コンクリートの場合は、コンクリート厚が 95mm 以上必要です。（下欄連続支持耐火仕様参照）

ご利用中の皆様には大変ご面倒をおかけ致しますが、上記に該当する ver4.00 にて検討済みの建築物件がありましたら、**アップデート版 ver4.01 にて再度のご確認をお願い致します。**
本計算ソフトをご利用の皆様には、今回ご多忙中にお手を煩わせることとなり、誠に申し訳ございません。

弊社QLデッキをご利用の皆様にとって、本計算ソフトがより使いやすいツールとなるよう さらなる改良を続けていく所存です。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

JFE建材株式会社 建材技術部

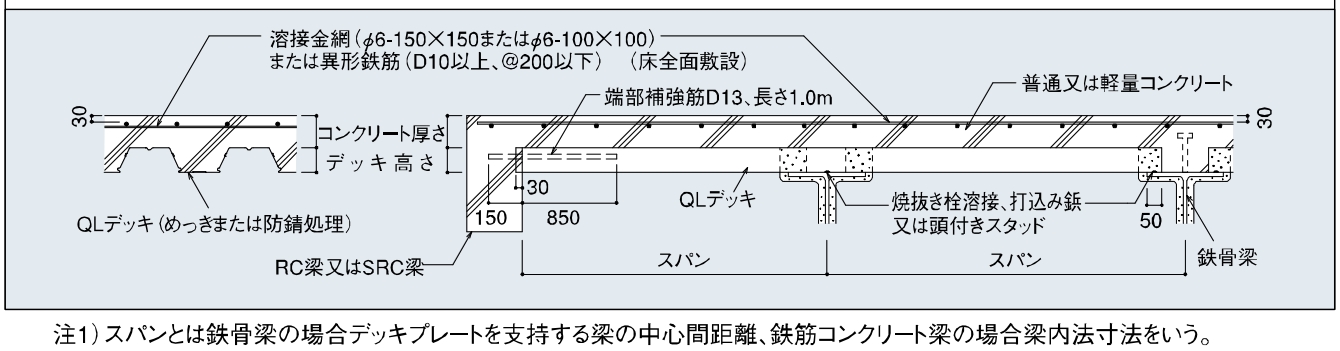
品　目　名　連続支持合成スラブ
商　品　名　QLデッキQL99-50、QLデッキQL99-75（板厚1.2mm、1.6mm）
認 定 番 号　FP060FL-9095（床1時間耐火）　FP120FL-9107（床2時間耐火）
認　定　日　平成14年5月13日
支　持　梁 ： 鉄骨梁及び大梁:鉄筋コンクリート梁又は鉄骨鉄筋コンクリート梁、小梁:鉄骨梁
コンクリート ： 設計基準強度18N/mm²以上の普通コンクリート、及び、軽量コンクリート（1種・2種）

普通コンクリート（設計基準強度18N/mm²以上）

耐火時間	品　名	支持スパン ℓ	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋	許容積載荷重 N/m²
床1時間耐火 FP060FL-9095	QL99-50	3.0m 以下	80mm 以上	φ6-150×150 又はD10-@200	$5,400\times(\frac{2.7}{\ell})^2$かつ9,800N/m²以下
	QL99-75	3.4m 以下			$5,400\times(\frac{3.4}{\ell})^2$かつ9,800N/m²以下
FP060FL-9095	QL99-75	3.6m 以下	90mm 以上	φ6-100×100又はD10-@200	4,400 N/m² 以下　注2)
床2時間耐火 FP120FL-9107	QL99-50	2.7m 以下	95mm 以上	φ6-100×100 又はD10-@200	$5,400\times(\frac{2.7}{\ell})^2$かつ9,800N/m²以下
	QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上		$5,400\times(\frac{3.4}{\ell})^2$かつ9,800N/m²以下
FP120FL-9107	QL99-75	3.6m 以下	95mm 以上	D10-@200	5,400 N/m² 以下　注2)

軽量コンクリート（設計基準強度18N/mm²以上）

床1時間耐火 FP060FL-9095	QL99-50	3.0m 以下	80mm 以上	φ6-150×150 又はD10-@200	$5,400\times(\frac{2.7}{\ell})^2$かつ9,800N/m²以下
	QL99-75	3.4m 以下			$5,400\times(\frac{3.4}{\ell})^2$かつ9,800N/m²以下
床2時間耐火 FP120FL-9107	QL99-50	2.7m 以下	85mm 以上	φ6-100×100 又はD10-@200	$5,400\times(\frac{2.7}{\ell})^2$かつ9,800N/m²以下
	QL99-75	3.4m 以下			$5,400\times(\frac{3.4}{\ell})^2$かつ9,800N/m²以下
FP120FL-9107	QL99-75	3.6m 以下	90mm 以上	D10-@200	5,400 N/m² 以下　注2）



注1）スパンとは鉄骨梁の場合デッキプレートを支持する梁の中心間距離、鉄筋コンクリート梁の場合梁内法寸法をいう。
注2）スパンが3.4mを超える場合は、合成スラブと梁とは頭付きスタッド（軸径16mm以上、ピッチ300mm以下）で結合する。
注3）鉄骨梁の場合、梁との接合は焼抜き栓溶接、打込み鋲、または頭付きスタッドを用いる。
注4）梁の耐火被覆　梁に1、2または3時間の耐火性能が要求される場合は、それらに応じ耐火被覆を施す。

付帯条件　連続支持合成スラブの場合、デッキプレートは2スパン以上にわたって連続的に小ばり等によって、ほぼ等間隔に支持されるものとする。